

無線 LAN 位置検知システム「日立 AirLocation™ II」のラインアップに アイコム製無線 LAN アクセスポイント対応モデルを追加

株式会社日立製作所(執行役社長:古川 一夫/以下、日立)と、日立のグループ会社で情報・通信システムの統合サポートサービス事業を行う日立電子サービス株式会社(社長:百瀬 次生)は、アイコム株式会社(以下、アイコム)製の無線 LAN アクセスポイントに対応した、無線 LAN 位置検知システム「日立 AirLocation™ II AP-50W システム」を、4月1日に発売します。

■「日立 AirLocation II AP-50W システム」の価格・出荷時期

製品名	価格	出荷開始時期
日立 AirLocation II AP-50W システム	個別見積 基本システム:1,850,000 円(税込み)	2008年4月下旬

■「日立 AirLocation II AP-50W システム」の基本システム構成

項目	概要	数量
AP-50W AirLocation II 対応モデル	位置検知機能を備えたアクセスポイント	4台
AirLocation II Tag-w	無線 LAN 電波の発信タグ (41mm×18mm×58mm、40g)	5個
AirLocation II Tag-w 充電器	AirLocation II Tag-w 用充電器	2個
AirLocation II エンジン	位置検知ソフトウェア	1式
AirLocation II ステーションマネージャ	端末の管理/ビューワソフトウェア	1式

近年、工場やプラント、工事現場では、音声・データ通信サービスを低コストで利用可能な、無線 IP 電話の導入が進んでおります。また、作業の効率化や安全性向上の観点から、作業員や車両等の位置をリアルタイムで検知し、管理したいという需要も高まりつつあります。

このような背景から、日立は、日立の無線 LAN 位置検知システム「日立 AirLocation II」とアイコムの無線 LAN アクセスポイント「AP-50W(AirLocation II 対応モデル)」を組み合わせた無線 LAN 位置検知システム「日立 AirLocation II AP-50W システム」を開発しました。

「日立 AirLocation II AP-50W システム」で使用するアクセスポイントは、アイコムの「AP-50W」をベースに「日立 AirLocation II」用に改良した「AP-50W(AirLocation II 対応モデル)」で、「AP-50W」と同様に小型・高機能の特徴としています。また、従来の「日立 AirLocation II」は、「TDOA(Time Difference of Arrival:到来時間差)方式」に基づく三辺測量と、位置検知対象が発する電波の強度によって大まかなエリア特定を行う「RSSI(Received Signal Strength Indicator:受信電界強度)方式」の併用により、位置を検知していますが、「日立 AirLocation II AP-50W システム」では、「RSSI 方式」のみでの位置検知を行います。このため、位置検知の機能は限定的にはなりますが、無線 LAN 端末を持つ人やモノの在室管理を、手軽に行うことができます。

今回、「日立 AirLocation II」ラインアップに「日立 AirLocation II AP-50W システム」が加わった

ことにより、無線 IP 電話や RFID タグをはじめとする無線 LAN 端末の所在確認が可能な位置検知システムを、容易にかつ従来システムの約 2 分の 1 という低価格で導入することが可能になります。



「日立 AirLocation AP-50W システム」の基本システム構成

製品に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 ワイヤレスインフォベンチャーカンパニー [担当:荻野]

〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号

電話 03-4564-4376(代表)

日立電子サービス株式会社 ソリューション営業部 営業第1グループ [担当:坂田]

〒108-0073 東京都港区三田三丁目 13 番 12 号

電話 03-5441-9402(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
